

全国学力調査、都学力調査、結果のお知らせ

今年度の文部科学省全国学力・学習状況調査（6年生、4月18日実施）、東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査（5年生、7月4日実施）の調査結果をお知らせします。調査結果をもとに、各学年及び教科担当の教員で授業改善のためのプランを作成し実施をしていきます。以下は、授業改善推進プラン作成のもとになった調査の結果（概略）と課題、改善策です。

【5年生】 東京都学力調査の結果

教科	平均正答率 (%)	
	本校	東京都
国語	○71.7%	67.6%
社会	○69.5%	66.7%
算数	○60.7%	60.1%
理科	○57.5%	56.8%

◎=かなり満足できる段階（東京都平均正答率+5ポイント以上）
 ○=概ね満足できる段階（東京都平均正答率±0～+5ポイント未満）
 △=努力を要する段階（東京都平均正答率-5以上～±0ポイント）
 ▲=かなり努力を要する段階（東京都平均正答率-5ポイント未満）

【6年生】 全国学力調査の結果

教科	平均正答率 (%)		
	本校	東京都	全国
国語	◎70%	65%	63.8%
算数	◎73%	70%	66.6%

◎=かなり満足できる段階（全国平均正答率+5ポイント以上）
 ○=概ね満足できる段階（全国平均正答率±0～+5ポイント未満）
 △=努力を要する段階（全国平均正答率-5以上～±0ポイント）
 ▲=かなり努力を要する段階（全国平均正答率-5ポイント未満）

【5年生】

- ・《国語の内容》の結果においては、思考・判断・表現、技能、知識・理解、読むのうち全ての観点において都の平均を上回っている。
- ・《社会の内容》の結果においては、思考・判断・表現、技能、知識・理解のうち「知識・理解」において都の平均を5ポイント下回っている。
- ・《算数の内容》の結果においては、思考・判断・表現、技能、知識・理解のうち「思考・判断・表現」において都の平均を0.6ポイント下回っている。また、「知識・理解」において都の平均を0.4ポイント下回っている。
- ・《理科の内容》の結果においては、思考・判断・表現、技能、知識・理解のうち「技能」において都の平均を2.5ポイント下回っている。

改善策

- ・算数や理科においては、問題解決型学習に向けて話し合う力を身に付けるために、事実と意見や自分の考えと相手の意見を比較して聞くことを指導する。
- ・社会においては資料の位置付け、読み取らせたい事柄、着目させたいポイント、本文や資料との関係を明示する。自ら課題を設定し問題解決をすることで関心・意欲・態度を高める工夫をする。課題を解決するために必要な資料を探し、自分の考えを話し合うアクティブ・ラーニングを積極的に行う。

【6年生】

- ・《国語》の結果においては、全ての観点で都や全国の平均を上回った。
- ・《算数》の結果においては、全ての観点で都や全国の平均を上回った。

改善策

- ・国語においては、「書く」に課題が見られる。各教科の指導において、書く目的や意図を明確にさせた上で、文章や図表などを用いて書かせたり、中心的な内容と付加的な内容に分けて書かせたりするなどの指導の充実を図っていく。
- ・算数においては、「数量や図形についての知識・理解」に課題が見られる。特に示された図形の面積の求め方を解釈し求め方を説明したり、示された除法の式の意味を理解したりする問題に取り組ませる。